

自殺総合対策推進モデル(清水私案)

こうした大きな枠組みの下、「民・官・学」それぞれの役割を明確にして、その上で密接に連携を図りながら、「点から線へ、さらに面へ」という発想に立ち、社会全体で自殺総合対策を推進していくべきであろう。

